

2023年9月22日  
プレスリリース No.009-23

## 令和5年度 公開講座 「道具が語る日本の文化とものづくりの技術」を開催します

静岡文化芸術大学では、一般市民を対象として、日本の文化の中で継承されてきた「ものづくり文化」と大地の恵み「素材」について学び、文化の継承と新たな創造へ繋げる匠公開講座を開催しています。

今年度は、日本の文化とものづくりの技術について「道具」を通して紐解いていきます。大工道具から静岡県内の山里の民具、さらに手も「道具」と捉えて、日本のものづくり文化を見つめ直し、創り伝えることについて考えます。

講演、ワークショップを通して全身で、「道具」「技術」「素材」の存在を実感してみませんか。

なお、この公開講座は、「東アジア文化都市 2023 静岡県」の認証プログラムです。

報道関係者の皆様におかれましては、この公開講座の広報および当日の取材のほど、お願い申し上げます。

### ■第一部：講演「道具が語る日本の文化とものづくりの技術」

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| I：講演「山里の道具と生活文化」                 | 外立ますみ（常葉大学非常勤講師）                        |
| II：鼎談「大工道具と木の文化」                 | 水野日出男（大工）、<br>新妻淳子・山口貴一（静岡文化芸術大学）       |
| III：ディスカッション<br>「日本の文化とものづくりの技術」 | 外立ますみ、水野日出男<br>荒川朋子・新妻淳子・山口貴一（静岡文化芸術大学） |

### ■第二部：ワークショップ

道具とものづくりの技術

- |                    |                               |
|--------------------|-------------------------------|
| 大工道具を使う、道具としての手を知る | 水野日出男、外立ますみ<br>荒川朋子、新妻淳子、山口貴一 |
|--------------------|-------------------------------|

### ■概要

- 【日時】2023年10月1日(日) 開場：9:00  
第一部：9:30～12:00 第二部：13:30～16:00
- 【会場】静岡文化芸術大学  
第一部：南棟 176 大講義室 第二部：構造実験室、木材加工室  
※構内に駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しになるか、近隣の有料駐車場をご利用ください。但し報道機関の方のための駐車スペースを数台分ご用意します。
- 【主催】静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター
- 【後援】静岡県、浜松市
- 【定員】第一部：100名 第二部：30名 ※第二部のみの参加はできません。
- 【申込方法】入場無料・要事前申込。本学公式Webサイトのイベントページから申込。

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 地域連携室(担当:杉田)  
Tel. 053-457-6105 / Fax. 053-457-6123  
Email. chiiki@suac.ac.jp

公式Webサイト



# 道具が語る日本の文化と ものづくりの技術

2023.10/1日 9:30~16:00 | 会場 | 静岡文化芸術大学

講演

## 「道具が語る日本の文化とものづくりの技術」

9:30~12:00 [9:00受付開始] | 会場 | 南176大講義室 | 対象 | 一般市民・学生

I: 講演「山里の道具と生活文化」

外立ますみ(常葉大学非常勤講師)

II: 鼎談「大工道具と木の文化」

水野日出男(大工)

新妻淳子・山口貴一(静岡文化芸術大学)

III: ディスカッション「日本の文化とものづくりの技術」

外立ますみ、水野日出男

荒川朋子・新妻淳子・山口貴一(静岡文化芸術大学)

[定員]

100名

無料  
要事前申込



ワーク  
ショップ

## 道具とものづくりの技術 大工道具を使う、 道具としての手を知る

13:30~16:00

会場 | 構造実験室、木材加工室

対象 | 一般市民・学生

講師: 水野日出男、外立ますみ  
荒川朋子、新妻淳子、山口貴一

[定員]

30名

無料  
要事前申込

お申込み

本学公式Webサイトの  
「イベント」情報から申込フォームにて  
お申し込みください。

HP:



お問い合わせ

静岡文化芸術大学 地域連携室

TEL.053-457-6105 FAX.053-457-6123

E-mail chiiki@suac.ac.jp

日本の文化の中で継承されてきた「ものづくり文化」と大地の恵み「素材」について学び、文化の継承と新たな創造へ繋げる匠公開講座。2023年度は、日本の文化とものづくりの技術について「道具」を通して紐解きます。本講座では、大工道具から静岡県内の山里の民具、さらに手も「道具」として捉えて、日本のものづくり文化を見つめ直し、創り伝えることについて考えます。

公開講座の【講演】では、「山里の道具と生活文化」について静岡県内の民具調査に携わられている外立ますみ氏に民俗学の視点から講演をいただきます。鼎談「大工道具と木の文化」では、木を加工する「道具」と「技術」、木という「素材」に着目し、大工、木工、建築史の視点から木の文化について考えます。総括として「道具」を幅広く捉え「日本の文化とものづくりの技術」についてディスカッションを行います。

【ワークショップ】「道具とものづくりの技術」では、実際に大工道具を使い、木の感触、木の性質、木の香りなどを実感し、手という優れた道具も体験します。

## 講師プロフィール

## 外立ますみ (はしたてますみ)

常葉大学造形学部非常勤講師。文化庁文化審議会専門委員。個人事業者としてトリー工房代表。専門は民具学(物質文化研究)。学生時代は、ものづくりを学びながら、民俗学の授業にはまり、福島県大内宿や田島町での民具・民家調査に参加。民具研究の方法として、工業製図を活かした記録方法「民具実測図」を実践し、中部地方を中心とした国指定などの文化財事業に関わってきた。論文「民俗文化財整備の中の民具実測 一問われてきた技術」『民具研究156号』など。

## 水野 日出男 (みずの ひでお)

大工。日本工芸会研究会員。建築物をそのまま持ち上げて移動させる「曳家」から家具、木作品制作まで幅広く活動。小島クラフト家具製作補助、東京造形大学にて講義。重要文化財旧鈴木家住宅保存修理工事(豊田市足助)、重要文化財東山植物園温室前館保存修理工事、重要文化財名古屋城西南隅櫓及び旧二之丸東二之門保存修理工事、重要文化財西園寺公望別荘「坐漁荘」保存修理工事(明治村)、国宝「如庵」保存修理工事、他多数に従事。

## 荒川 朋子 (あらかわともこ)

静岡文化芸術大学デザイン学部准教授。専門はテキスタイル、繊維造形。「繊維」から導き出される造形の表現性と可能性、その広がりりと奥深さに強く惹かれ研究活動を行う。

## 新妻 淳子 (にいつまじゅんこ)

静岡文化芸術大学デザイン学部准教授。専門は日本伝統建築。日本の伝統建築と近世建築普請活動に関する研究を推進。伝統建築から直に日本の意匠や技術を学び新たな創造を目指す。

## 山口 貴一 (やまぐち たかかず)

静岡文化芸術大学デザイン学部特任助手。専門は現代芸術、現代彫刻、環境彫刻。木材を素材の中心として様々な作品を制作・研究することにより、社会と芸術の関係性を探求する。



## お申込み方法

大学公式Webサイトの「イベント」情報から申込フォームにてお申し込みください。

HP:

## 【お申込みの注意事項】

ワークショップ(午後/定員30名)のみのお申込みはできません。講演(午前)+ワークショップ、もしくは講演のみのお申込みを選択してください。

## 交通アクセス

本学には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

- JR浜松駅より徒歩15分
- 遠州鉄道「遠州病院前」下車徒歩8分
- 遠鉄バス「文化芸術大学」下車



お問い合わせ

静岡文化芸術大学 地域連携室  
〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1

TEL:053-457-6105 FAX:053-457-6123

E-mail: [chiiki@suac.ac.jp](mailto:chiiki@suac.ac.jp) HP: